

01 共通確認・退出前チェック

工種別ページと一緒に使用。済＝確認済み、未＝未確認、外＝対象外。空欄を「問題なし」にしない。

案件ID・部屋		調査日・担当	寸法はmm / 写真番号を対応
状態	対象	確認内容・寸法・メモ	写真番号
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	要望・施工範囲	交換 / 補修 / 残す範囲、希望時期、図面の有無	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	現場の利用条件	空室 / 居住中、鍵、家具移動、作業可能な時間	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	搬入・搬出	駐車、階段、廊下・扉の最小幅、EV利用・養生	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	電気・水道等	使用条件、停止の調整先、専門業者への確認事項	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	管理者との調整	連絡先、工事申請、共用部・近隣への対応条件	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	退出前の確認	必須写真・寸法・品番が読める / 保存先を共有	

未確認事項と次の確認

未確認の対象・理由	確認する人・期限	見積への影響・条件

調査範囲の参考：TOTO「リフォームプランについて」。本紙は編集部作成の記録補助資料です。

02 内装・原状回復

部屋ごとに記録。壁をA・B・C・D等で識別し、測定位置が分かる図・写真を添付。

案件ID・部屋		調査日・担当	寸法はmm / 写真番号を対応
状態	対象	確認内容・寸法・メモ	写真番号
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	部屋・天井	幅W：奥行D：高さH：	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	壁面・凹凸	壁A：B：C：D：梁・柱：	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	ドア・窓	開口の幅×高さ、壁端からの位置、見込み面の施工	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	床・下地	仕上げ、撤去 / 上貼り、段差、不陸、傷み、補修範囲	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	品番・数量条件	壁 / 天井 / 床の品番、巾・柄方向、巾木・見切り	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	施工・控除範囲	施工する面、開口控除、家具移動、下地補修の区分	

未確認事項と次の確認

未確認の対象・理由	確認する人・期限	見積への影響・条件

数量の計算：ainavi.tech/blog/cross-haba-hayamihyo/。材料発注は有効巾・柄・割付を別途確認。

03 キッチン

目視できる範囲を記録。製品の適合・給排水や電源の判断は施工担当者へ確認。

案件ID・部屋		調査日・担当	寸法はmm / 写真番号を対応
状態	対象	確認内容・寸法・メモ	写真番号
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	本体・空間	間口：奥行：高さ：天井高：	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	給排水・給湯	位置、床 / 壁出し、点検口、見える範囲の接続	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	熱源・電源	ガス / IH、機器品番、表示、コンセントの位置	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	換気・吊戸棚	フード品番、ダクト経路、取付位置、下地の確認状況	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	周辺・復旧	壁・床・パネル、扉の開閉、残す収納との納まり	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	写真・搬入	正面全体、銘板、配管の寄り、左右・上部、経路	

未確認事項と次の確認

未確認の対象・理由	確認する人・期限	見積への影響・条件

採用品番の施工説明書と照合して施工可否を確定。隠れた部分を推測で確定せず、下欄に追加調査を記入。

04 浴室

仕上がり内寸と設置必要寸法を区別。点検できない箇所は未確認として引き継ぐ。

案件ID・ 部屋		調査日・ 担当	寸法はmm / 写真番号を対応
状態	対象	確認内容・ 寸法・ メモ	写真番号
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	方式・ 既存品番	在来 / ユニットバス、メーカー、品番、既存の状態	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	寸法・ 入口	内寸W×D： H： 入口・ 段差：	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	窓・ 点検範囲	窓位置、天井 / 床下点検口、見える範囲・ 見えない範囲	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	設備・ 接続	給排水、給湯、追いだき、換気乾燥機の品番・ 位置	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	周辺・ 復旧	脱衣室の壁・ 床、枠、洗面台との干渉、漏水等の跡	
☐ 済 ☐ 未 ☐ 外	写真・ 搬入	室内全体、入口、銘板、接続、最小幅・ 曲がり角	

未確認事項と次の確認

未確認の対象・ 理由	確認する人・ 期限	見積への影響・ 条件

製品別確認の参考：TOTO「戸建リモデル現場調査マニュアル」。危険な立入り・ 分解はせず専門業者へ引き継ぐ。